

かわさき アートニュース

KAWASAKI ART NEWS

2024年
4月号

Vol.334



絵：山川誠夫

作：小川信夫

演出：鈴木龍男（前進座）

02
特集

川崎市市制100周年記念

第9回川崎郷土・市民劇「百年への贈り物 ～川崎市誕生ものがたり～」

インタビュー／演出 鈴木龍男さん

CONTENTS[目次]

- 05 音楽 | ミューザ川崎シンフォニーホール
- 08 美術 | 市内ギャラリー情報
- 10 美術 | 川崎浮世絵ギャラリー
- 11 文化 | 東海道かわさき宿交流館
- 12 映画 | アルテリオ映像館
- 14 演劇 | アルテリオ小劇場
- 15 イベントレビュー



THE KAWASAKI FOUNDATION

川崎市市制100周年記念
第9回川崎郷土・市民劇

百年への贈り物

～川崎市誕生ものがたり～



インタビュー／
演出 鈴木龍男さん

川崎の歴史や歴史上の人物を採り上げ、市民の手で上演する「川崎郷土・市民劇」。公募で集まった市民の皆さん38名が出演します。川崎市市制100年を迎える今回のテーマは「水道の創設」そして「川崎市の誕生」です。市民劇で3度目の演出を手掛ける鈴木龍男さんにお話を伺いました。

絵：山川靖夫

あらすじ

およそ100年前、川崎町近郊の住民は多摩川の水による赤痢などの伝染病に苦しんでいた。「何とかきれいな水を」と石井泰助町長と町民は立ち上がった。しかし、浄水場を造ろうという計画には莫大な資金が必要だった。石井は工場誘致にも力を注ぐ必要を感じ、自らの土地も提供し町長を辞してまで奔走するのだった。

人の暮らしにおいて 普遍的な財産「水」

—今回のテーマ「水道」との関わりをどのように感じていますか。

今は水道の蛇口をひねれば水が出るという環境ですが、能登半島地震でも明らかになったように災害時に水道や電気が止まると、人間は無力になるという現実を痛感しています。2019年に起きた台風19号での冠水は記憶に新しいですし、1970～80年代には生活排水や工場排水による多摩川汚染を経験しています。恩恵も脅威も含めて、人間の歴史の中で水の影響は大きいですね。この物語は今からおよそ100年前、明治最初の頃が舞台ですが、水が蛇口をひねって出るものではないという時代は、そんなに遠くないと感じました。

—明治30(1892)年当時の川崎町長、石井泰助が「水道敷設」を志したのはどんな背景があったのでしょうか。

川崎は江戸時代から、たびたび多摩川の氾濫で大被害を受けていました。また町民は、水売り業者が多摩川上流の二ヶ領用水から取水し、ろ過した飲み水に頼って生活していましたが、赤痢、チフスといった水に伴う伝染病が蔓延していました。後に初代川崎市長となる石井泰助は、こうした悲惨な患者の実態を目の当たりにし、人々が安全な水を飲めるようにするため、「水道敷設」を川崎で公共事業として行った初めての人です。石井は工場誘致と一体化した「人にやさしい工場のある町」に向けて奔走していきます。

利益を共有する関係を 少しずつ築く

—水道の敷設には長い時間がかかりました。どのような困難があったのでしょうか。

まず一つは財源の問題です。国や県からは調達できず、税金でも到底足りない。そこで、川崎市の象徴である工業群への働きかけが要となります。当時は、東京電気(後の東芝)や日本鋼管、鈴木商店(後の味の素)など新興の会社が川崎に入ってきたタイミングでした。さらに、二ヶ領用水から水を配っていた水売り関連業者は水道設置に反対し、また町民は水道のために高い税金を払うことに抵抗しました。こうした状況に向き合い続ける石井や政治家たちの姿勢からは、町民の健康や暮らしのことを考へ行

鈴木龍男 プロフィール

1953年8月29日生まれ。新潟県南魚沼市六日町出身。
1976年二松学舎大学国文科卒業。同年3月劇団前進座文芸演出部入座、現在前進座座友。演出者協会会員、舞台監督協会理事、アシテジ(国際児童青少年舞台芸術協会)日本センター理事、日本演劇協会会員。
近年の演出作品—『龍の子太郎』(前進座)・『森は生きている』(劇団仲間)・『イヌの仇討』(人形劇団ひとみ座)など。



読み稽古の様子(2024年2月18日スペース京浜(幸区古市場))

動していたことが感じられます。

市民劇に関わる人たちから 感じる郷土愛

—鈴木さんは第5回「華やかな散歩」、第7回「日本民家園ものがたり」に続いて、3度目の演出となります。「川崎郷土・市民劇」に対してどのような思いを持っていますか。

劇に関わる皆さんから川崎への愛を感じますね。出演者も制作スタッフも、川崎市内外の様々な場所から稽古に通われていますが、川崎に集う人たちの「郷土愛」がとても強いんだなということが分かります。たとえば川崎市民の方であれば、自分が住んでいる地名が出てくると嬉しいですよ。地名の読み方にもこだわりがあって、川崎町とは言わない、川崎町なんだと。稽古もそうやってみんなの知恵を出し合って、台本を肉付けしていく作業なんです。衣装や小道具をみんなで持ち寄ってつくる作業も、専門職がいるプロの劇団とは違うところです。出演者や制作スタッフがそれぞれの得意技を活かして関わろうとしているのが素敵だと思います。

また、演技にも上手い下手はありません。その存在自体が重要です。劇中では主役が設定されますが、周りを支える一人ひとりが描かれています。小川信夫さんの脚本からも各人物への愛が伝わってきますね。

—川崎の郷土を題材にすることの醍醐味は何でしょうか。

自分たちがその土地の歴史を体感して、明治や大正の人になってみる経



験は、その人の中に一生残ります。その後も派生して、何かのタイミングで違うものや別の角度で知りたくなることもあると思うんです。観劇される方にも、その土地で生きた人たちを知る入口になってほしいですね。この市民劇は今回で9回目です。過去には戦国時代も扱っているのですが、9回観ている方なんかはもう川崎市の歴史通ですよ。過去に取り上げた富士^{フジ}瓦斯^{ガス}紡績や南武線の話も、今回の水道事業に繋がっているのです。実在した人物たちがリンクしていくのもおもしろい。そうした取り組みが川崎で継続されているのはとても貴重だと思います。

私たちは未来の世代に 何を手渡せるか

—今年は川崎市が誕生して100年という節目の年です。作品には「100年への贈り物」と題されていますが、当時の人たちから何を託されていると思いますか。

私たちは「水」という暮らしを営むための普遍的な財産を受け取りました。今度は、自然と共生しながらどれだけ豊かにこの先の世代に引き継いでいけるか、そこに人間の知恵が必要です。これからまた様々な問題が起きてくると思うんです。人権問題や戦争への危機、貧困の拡大なども含め、どのように向き合っていくのか。ものを動かすのは、人の力です。水に限らず、様々な基礎を作った人たちの存在や思いを演劇を通じて届け、今の社会で波及していくてくれるといいなと思います。

川崎郷土・市民劇とは

川崎の歴史を採り上げた創作劇を上演することで、市民文化の向上と豊かなまちづくりを推進しようと、市制80周年を記念し2006年に始まりました。主に市内の劇団、演劇人、市民からの公募により出演者を決定し、スタッフはプロの力を借りて質の高い舞台づくりをしています。毎回3,000人以上の観客を動員し、好評を得ています。



第8回川崎郷土・市民劇
「おーい! 煙突男よー 天空百三十尺の風ー」
(撮影:小池 汪)

川崎市誕生の裏に水道あり

劇中にも登場する、水道に使われた木管。東京市の村山貯水事業や国の軍備による鉄材不足で、水道創設の計画は難航。木管水道技師が尽力し、木製の水道管を使用したことで水道の完成に導きました。



木製水道管 大正末頃
川崎市市民ミュージアム所蔵

大正10(1921)年 川崎初の浄水場が完成し、給水が開始されました。



川崎町水道通水記念絵葉書
大正10(1921)年9月(部分)
川崎市市民ミュージアム所蔵

大正13(1924)年 近隣の大師町、御幸村が川崎町の水道を求めたことを背景に、2町1村が合併。「川崎市」が誕生し、石井泰助が初代川崎市長に就任しました。

石井泰助肖像写真
大正13(1924)年頃
川崎市市民ミュージアム所蔵



公募で集まった市民の皆さん総勢38名が出演!

川崎郷土・市民劇 稽古場レポート

出演者
インタビュー

高橋宏和さん[初代市長 石井泰助 役]
静かで熱い泰助像を探っていきたい

泰助は愛する川崎を発展させたいという夢を持ち、川崎に住んでいる人たちのことも愛する熱い人です。同時に、皆が幸せになるために道路や水道を整備し、工場を誘致するといった、現実的なビジョンと行動力も持っています。肖像写真や台本と向き合いながら、泰助の人物像を膨らませています。



小山萌絵さん[泰助の養女 利恵 役]
川崎の情報があふれる稽古場

中学生の頃から演劇を続け、在学中の大学院で研究している「歴史とまちづくり」にもぴったりの作品と思い初めて参加しています。当時は女性が活躍しづらい時代のため出番がないことも多いですが、自分が出ていない場面でも濃くて感動する重要なシーンが続いているので、日々収穫が多いです。

中谷麻由子さん[川崎町・総務会計 金田澄江 役]
先人たちに思いを馳せて演じる

2008年の第2回から出演し今年で17年目になります。「事実は小説よりも奇なり」と言うように、史実はドラマチックです。例えば昔の災害と現在起こっている震災とを重ねることで感情移入してしまうし、観客の皆さんからの反響も感じます。歴史に残らない人たちの存在にも思いを馳せて演じたいです。



小川がこうさん
[川崎町助役 松本弥三郎 役]
役者と小道具担当として
チームを支える

初回からずっと出演していると、今度も出ないわけにはいかない、全部出てやるぞという思いがあります。昨年の「モモ」(かわさき演劇まつり)では、「時間の花」を表す小道具を試行錯誤しながら作りました。今回の難題は物語でマスコットとなる「木彫りの狛犬」作りです。登場をお楽しみに!



稽古場ニュース「狛犬通信」

市民劇の参加者間で情報を共有するため、小道具を担当する護柔一さんが稽古毎に発行。登場人物や当時の町の暮らしなどをわかりやすく紹介し、芝居作りにも反映されています。



公演概要

川崎市市制100周年記念 第9回川崎郷土・市民劇 「百年への贈り物 ～川崎市誕生ものがたり～」

作者：小川信夫 演出：鈴木龍男(劇団前進座)

日程 2024年5月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)

時間 11日(土)・12日(日)・19日(日) 14:00、18日(土) 11:00/16:00

会場 5月11日(土)、12日(日)/多摩市民館 5月18日(土)、19日(日)/幸市民館

料金 指定席：3,500円(前売券のみ) 自由席：一般3,000円、小学生～大学生・障がい者：1,000円

※当日は各300円増。 ※学生：来場時に生年月日のわかる身分証明書をご提示ください。 ※障がい者：来場時に障害者手帳をご提示ください。

チケット販売窓口 「★」は窓口販売のみ、電話予約は受け付けていません。

- 川崎駅北口 かわさき きたテラス 観光案内所【アトレ川崎3階】(★)
- 川崎文化会議(川崎区) 電話：044-244-7481 ※指定席券は要電話予約
- ラゾーナ川崎プラザソル(★)(幸区) 電話：044-874-8501 ※自由席券のみ取り扱い
- 川崎市民劇場なかはら(高津区) 電話：044-455-7950 ※指定席券は要電話予約
- しんゆりチケットセンター(麻生区) 電話：044-959-2255 ※多摩市民館公演のみ。指定席券は座席指定可。

[主催/お問合せ] 川崎郷土・市民劇上演実行委員会 電話：044-544-3711(平日9時30分～17時)

[共催] 川崎市、川崎市教育委員会、公益財団法人川崎市文化財団、川崎・しんゆり芸術祭実行委員会



チケット予約
システム
CoRich



多摩市民館公演



幸市民館公演

最新の情報は
ウェブサイトで
ご確認ください。



シンポジウム開催情報「初代川崎市長 石井泰助と川崎市の発展」

日程 3月19日(火) 14:00～ 幸市民館 第1会議室 定員50名

4月 2日(火) 15:00～ 中原市民館 第3・4会議室 定員48名

4月 6日(土) 15:00～ アートガーデンかわさき 定員55名

講師 望月一樹(神奈川県立歴史博物館館長 3月19日、4月2日)、金子督(川崎市上下水道事業前管理者 3月19日、4月6日)、小川信夫(「百年への贈り物」作者 3月19日、4月2日、6日)、鈴木龍男(演出、劇団前進座 4月2日)

申込方法 以下の内容を添えてメールまたはFAXでお申込みください。

①「〇月〇日 市民劇シンポジウム参加希望」 ②参加日 ③参加される方のお名前 ④連絡先電話番号(代表者の番号でも可)

申込先 メール：k.shimingeki@gmail.com FAX：044-544-9647

参加無料
先着順

ミューザ川崎シンフォニーホール

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL20
YEARS
MUZA KAWASAKI
SYMPHONY HALL

沼尻竜典

【オペラ・オブ・モーツァルト】

モーツァルトの代表的なオペラのアリアを集めたプログラム。オペラ指揮者としても名高い沼尻竜典と、バリトン界で活躍の場を広げる大西宇宙のタッグでお送りします。モーツァルトが円熟期に差し掛かったところに作曲した「リンツ」交響曲とともに、オペラの世界をご堪能ください。

第57回
モーツァルト・マチネ

5月3日(金・祝) 11:00開演

*休憩なし/約70分

指揮：沼尻竜典 バリトン：大西宇宙

管弦楽：東京交響楽団

《オール・モーツァルト・プログラム》

歌劇『魔笛』から「おいらは鳥刺し」

歌劇『フィガロの結婚』から「もう訴訟に勝っただと?」(1789年ウィーン版)

歌劇『ドン・ジョヴァンニ』から「シャンパンの歌」、「さあ、窓辺においでよ」

歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』から「彼に向けてください、その眼差しを」

交響曲 第36番「リンツ」

音楽ワークショップ開催! 中高生向け

いい声で歌おう!
ホールで音楽ワークショップ!
申込締切/4月8日(月) 23:59

大西宇宙
©marco berggare

全席指定 ¥4,000 U25 (小学生~25歳) ¥1,500

ミューザ川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団

名曲全集

豪華指揮者・ソリスト陣でお贈りする、
休日午後のコンサート。

【ノットが認めたヴィオラの名手2人が登場!】

11年目のシーズンを迎える、音楽監督ジョナサン・ノット×東響。ノットが認めた2人のヴィオラの名手、東響首席奏者の青木篤子とプラハの春国際音楽コンクール優勝&東京国際ヴィオラコンクール第3位の逸材サオ・スレーズ・ラリヴィエールを贅沢に聴き比べできるプログラム。後半は異国情緒あふれるイベールの交響組曲「寄港地」をノットがどう魅せるのか、どうぞお楽しみに!

第197回 5月18日(土) 14:00開演

S席 ¥7,500 A席 ¥6,500 B席 ¥4,500

C席 ¥3,500

25歳以下当日券 ¥1,000 (学生に限らず、25歳以下の方)

ジョナサン・ノット
©T.Tairadate青木篤子
©Junichiro Matsuoサオ・スレーズ・ラリヴィエール
©Joerg-Reichardt

指揮：ジョナサン・ノット (東京交響楽団 音楽監督)

ヴィオラ：青木篤子 (東京交響楽団 首席ヴィオラ奏者)*

ヴィオラ：サオ・スレーズ・ラリヴィエール**

ベルリオーズ：交響曲「イタリアのハロルド」*

酒井健治：ヴィオラ協奏曲「ヒストリア」**

イベール：交響組曲「寄港地」

こどもフェスタ 2024 春

こどもの日 オープンハウス

2024年
5月5日(日・祝)
10:00 OPEN!

※イベントにより開始・終了時間が異なります

詳しくはこちら



入場無料
0歳から入場可!

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール (JR川崎駅中央西口直結)

5月5日の「こどもの日オープンハウス」は
ミューザ川崎シンフォニーホールの1日開放日♪
コンサートに来たことがある人もない人も、
ホールの中はどうなっているのか、どんな響きがするのか、
まずは体験しに来てみませんか?
楽しいイベントをご用意してお待ちしています!!

スケジュール

	ホール		歓喜の広場	市民交流室	
	舞台上	ロビー			
10:00					10:00
10:30					10:30
11:00	オルガンミニコンサート&照明ショー①			MUSIC×ENGLISH! 音のワークショップ 事前申込制・有料	11:00
11:30	ホール開放時間 11:00~12:30 出入り自由			申込締切/4月1日(月)	11:30
12:00		●フォトスボット ●クイズラリー 10:00~15:00 出入り自由	手作り楽器&リズムあそび ワークショップ 10:00~15:00 出入り自由		12:00
12:30					12:30
13:00	オルガンミニコンサート&照明ショー②				13:00
13:30					13:30
14:00					14:00
14:30					14:30
15:00					15:00
15:30	パイプオルガン長期レッスン発表会				15:30
16:00					16:00

小さなお子様をお連れの方へ

- 安全にお楽しみいただくため、お子様からは目を離さず見守っていただきますようお願いいたします。
- 客席内での飲食はご遠慮ください。
- ベビーカーはホール入口にてお預かりいたします。
- 授乳室がございます。
- おむつは必ずお持ち帰りいただきますようお願いいたします。

主催/ミューザ川崎
シンフォニーホール
(川崎市文化財団グループ)
☎044-520-0200
(10:00~18:00)



後援/川崎市教育委員会

〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

2024年 ミューザ川崎 シンフォニーホール コンサートカレンダー MUZA Kawasaki Symphony Hall Concert Calendar



4 木

11:00開演

会場:市民交流室 第20回 ジェイミーのコンサート ～尊い個性を愛するために～ ピアニスト小川典子が自閉症者とそのご家族に贈る特別なひととき 全席自由 ¥3,500

ピアノ:国府弘子 ピアノ:小川典子 講師:明石洋子(社会福祉法人あおぞら共生会理事長、一般社団法人川崎市自閉症協会相談役[前会長])
【第1部】特別講演 【第2部】国府弘子、小川典子の2台鍵盤による演奏 トルコ行進曲(国府弘子編)/リボーン(国府弘子オリジナル曲)/ラプソディ・イン・ブルー(ガーシュウィン) 他

お問合せ | アーヴ・アイランド 03-6914-0361(平日10:00~17:00) MUZA チケット

6 土

15:00開演

ホールアドバイザー秋山和慶&宮本貴奈企画 オークストラで楽しむ映画音楽XV 全席自由 ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥4,000 U25各席種半額

指揮:秋山和慶 ピアノ:宮本貴奈 ナビゲーター:中井美穂 ゲスト:佐藤竹善(ヴォーカル)、幸田浩子(ソプラノ) 管弦楽:東京交響楽団
「サウンド・オブ・ミュージック」/「ティファニーで朝食を」/「ハリー・ポッター」/「ラストエンペラー」/「パート・バカラックメドレー」/「ウエスト・サイド物語」 他

お問合せ | MUZA チケット 灰

7 日

14:00開演

東京シティ・フィルのドラゴンクエスト すぎやまこういち 交響組曲「ドラゴンクエストVIII」空と海と大地と呪われし姫君 全席自由 ¥6,000 A ¥5,000 B ¥4,000 小中学生各席種半額

指揮:井田勝大 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
すぎやまこういち:交響組曲「ドラゴンクエストVIII」海と大地と呪われし姫君

お問合せ | 東京シティ・フィル チケットサービス 03-5624-4002 チケット

12 金

19:00開演

「ドラゴンクエスト」ウインドオーケストラコンサート 全席自由 ¥5,500 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥3,000

指揮:大井剛史 吹奏楽:東京佼成ウインドオーケストラ
すぎやまこういち(吹奏楽編曲/真島俊夫):吹奏楽による「ドラゴンクエスト」I,II,III

お問合せ | キョードー東京 0570-550-799(平日11時~18時、土日祝10時~18時) チケット

13 土

公演予定

14 日

13:30開演

水星交響楽団 第67回定期演奏会 全席自由 ¥2,000 A ¥1,500 ※teketでのお支払い

指揮:大井剛史
レプエルタス:センセマヤ、マヤ族の夜/ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」

お問合せ | 植松 090-1608-5749

15 月

12:15開演

会場:歓喜の広場 東響ミニコンサート in MUZA 第104回 入場無料/当日先着受付

東京交響楽団メンバー

お問合せ | MUZA

16 火

12:10開演

ENEOS Presents MUZAランチャタイムコンサート 4月 中村滉己(津軽三味線奏者・民謡歌手) ACOUSTICS「春雷鳴翔 ~昼の巻~」 全席指定 ¥500

津軽三味線・民謡:中村滉己 ピアノ:高橋優介
津軽じょんから節(青森県民謡)/中村滉己:歩-AYUMI-/ホーハイ節(青森県民謡)/中 孝介:花 他

お問合せ | MUZA チケット

16 火

19:00開演

会場:ホール2Fロビー ENEOS Presents MUZA MUSIC BAR 中村滉己(津軽三味線奏者・民謡歌手) ACOUSTICS「春雷鳴翔 ~宵の巻~」 全席自由 ¥3,000 ペア割(2名で) ¥5,000※限定100席

津軽三味線:中村滉己 ピアノ:高橋優介
津軽じょんから節(青森県民謡)/南部酒屋酩酊すり唄(岩手県民謡)/中村滉己:糸命-SHIMEI-/中村滉己:Labyrinth-迷宮- 他

お問合せ | MUZA チケット 灰

20 土

14:00開演

JR東日本交響楽団 第32回定期演奏会 全席指定/全席無料(要事前申込み)

指揮:竹内健人 ピアノ:石川奈々歩
ガーシュウィン:パリのアメリカ人、ラプソディー・イン・ブルー/チャイコフスキー:交響曲第4番

お問合せ | JR東日本交響楽団 演奏会お問合せ窓口 <http://classic-concert.info/jrso32/>

21 日

14:00開演

東京交響楽団川崎定期演奏会第95回 全席自由 ¥8,500 A ¥6,500 B ¥4,500 C ¥3,500 P ¥3,000

指揮者:サカリ・オラモ ソプラノ:アナ・コムシ
サーリアホ:サーリコスギ歌曲集(管弦楽版)(日本初演)/シベリウス:交響詩「ルオンタル」/ドヴォルザーク:交響曲第8番 他

お問合せ | Tokyo Symphonyチケットセンター 044-520-1511 東響 チケット 灰

23 火

公演予定

27 土

11:00開演
14:30開演

東京交響楽団キッズプログラム 0歳からのオーケストラズ・ラシアン・プラス meets 東京交響楽団 全席指定 大人 ¥3,500 子ども(中学生以下) ¥1,500

指揮:水戸博之/オカビ 管弦楽:東京交響楽団 ズーラシアン・プラス(金管五重奏)
アンダーソン:舞踏会の美女/ヨハン・シュトラウスII世:雷鳴と電光/ズーラシアン・プラス&東京交響楽団のアンサンブルによるスペシャルコーナー/久石 譲:さんば 他

お問合せ | Tokyo Symphonyチケットセンター 044-520-1511 東響 チケット

28 日

14:00開演

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第196回 全席自由 ¥6,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,500 *25歳以下当日券:1,000円(要問合せ・要年齢確認)

指揮:太田 弦 ピアノ:田村 響 合唱:東響コーラス
L.アンダーソン:ピアノ協奏曲/A.ニューマン:20世紀フォックス・ファンファーレ/J.ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」から

お問合せ | MUZA 東響 チケット 灰

29 月祝

公演予定

■館内での咳エチケットや適切な手指消毒を推奨します。
■館内でプラボー等の声援をされるお客様におきましては、マスク着用を推奨します。

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。
ミューザ川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せください。

東響 マークの付いた公演はTOKYO SYMPHONYチケットセンター(044-520-1511)でもご購入いただけます。

チケット マークの付いた公演は、ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンターにてお取り扱いしております。

灰 マークの付いた公演は、ホール友の会会員割引がございます(セット券等を除く)。

※2024年2月8日現在の公演情報です。都合により予告なく変更になる場合がございます。最新情報は各主催者へお問合せください。

ミューザ川崎
シンフォニーホール公式
サイトはこちらから!



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・時間・料金等が変更になる場合がございます。最新の情報は必ず各施設へご確認ください。□ = 休館日
- 各展覧会の展示内容など詳細については、各施設へお問合せください。

2024.4

2024.4		1 Mon	2 Tue	3 Wed	4 Thu	5 Fri	6 Sat	7 Sun	8 Mon	9 Tue	10 Wed	11 Thu	12 Fri	13 Sat	14 Sun	15 Mon	16 Tue	17 Wed	18 Thu	19 Fri	20 Sat	21 Sun	22 Mon	23 Tue	24 Wed	25 Thu	26 Fri	27 Sat	28 Sun	29 Mon	30 Tue	5/1 Wed
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室																															
	第2展示室												「書の扉」作品展(書道) 4月12日(金)～14日(日)					フォトクラブ 写撮作品展 4月16日(火)～21日(日)						素人絵描きの個展(絵画) 4月23日(火)～28日(日)								
	第3展示室																	フォトクラブ 川崎写真展 4月16日(火)～21日(日)						新日美神奈川支部展(絵画) 4月23日(火)～28日(日)				のぞいてごらん トキメキアート(絵画・イラスト) 5月1日(水)～5月5日(日・祝)				
川崎浮世絵ギャラリー(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL. 280-9511 【休館日】月曜日(祝日と重なる場合は翌日)、展示替えの期間 4月29日(月・祝)、30日(火)、5月6日(月・祝)は開館 5月7日(火)は振替休館		有料	浮世絵にみる異国 【後期】3月16日(土)～4月14日(日) 観覧料:500円 (ただし高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料)														有料	SHO(笑) TIME! 戯画展 【前期】巨匠たちのユーモア ～国芳・広重・晁斎～ 【後期】歌川広景 江戸名所道外尽 【前期】4月20日(土)～5月19日(日) 【後期】5月25日(土)～6月23日(日) 観覧料:500円(ただし高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料)														
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第3回 花華作品展 (書道、絵画、写真、手工芸等) 3月29日(金)～4月3日(水)				第7回 花友舞展 (切り絵、写真、友禅、絵画、生け花) 4月5日(金)～10日(水)				川崎中原の空襲・戦災を記録する会 2024年第13回 中原空襲展 4月12日(金)～17日(水) ※15日休館				それでも?やる会 SYKクラブ 写真展 4月19日(金)～24日(水)				NUCB事業構想ネットワーク 構想フォトグラフィー2024 4月26日(金)～5月1日(水)														
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第46回 みゆきフォトクラブ写真展 3月29日(金)～4月3日(水)				三人展+ゲスト1名 (アクリル、油絵) 4月5日(金)～10日(水)								歩楽里写真部写真展 4月19日(金)～24日(水)																		
川崎市民プラザ(高津区) 川崎市高津区新作1-19-1 TEL. 888-3131 【休館日】年末年始ほか		鯉のぼり吹き流し展示[屋内広場] 4月5日(金)～5月5日(日・祝)																														
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		アトリエどんぐり(ナザレ美術教室) 作品展 (等身大の絵・粘土作品等) 3月29日(金)～4月3日(水)				LINEフレンド48の会 作品展 (書道作品、手作りの品等) 4月8日(月)～10日(水)																										
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		多摩川水彩画彩遊会 水彩画展示会 3月29日(金)～4月3日(水)																														
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 生田緑地内 TEL.900-9898 【休館日】月曜日(4月29日は除く)、4月16日(火)、 4月17日(水)	常設展	有料	「人のかたち:岡本太郎の人体表現」 1月20日(土)～4月14日(日)														有料	「前衛たちの足跡 岡本太郎とその時代」 4月18日(木)～7月7日(日)														
	企画展	有料	「第27回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」 2月17日(土)～4月14日(日)														有料	川崎市市政100周年記念展 「生命の交歓 岡本太郎の食」 4月27日(土)～7月7日(日)														
		展覧会料金等 ※()内は20名以上の団体料金 ●2024年4月14日(日)まで ※企画展とのセット料金 [一般700円(560円)、高・大学生・65歳以上500円(400円)中学生以下無料] ●2024年4月18日(木)～4月26日(金) ※常設展のみの料金 [一般500円(400円)、高・大学生・65歳以上300円(240円)中学生以下無料] ●2024年4月27日(土)～7月 7日(日) ※企画展とのセット料金 [一般900円(720円)、高・大学生・65歳以上700円(560円)中学生以下無料]																														
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		木版画あさお 木版画展 3月28日(木)～4月3日(水)				イリスの会(絵画) 4月5日(金)～10日(水)								わかえだ会 わかえだ三人展(油絵) 4月20日(土)～24日(水)				第9回美術クラブ色波会 作品展 (絵画、写真、陶芸) 4月26日(金)～5月1日(水)														

川崎市市民ミュージアム

等々力緑地の旧施設は閉鎖しました。現在、市内の他施設やオンライン等で博物館・美術館活動を行っています。



市民ミュージアムオンラインショップ



川崎市市民ミュージアム ー誕生をめぐってー

……1,500円(税込・送料別途)

3月5日(火)に終了した展覧会「川崎市市民ミュージアム ー誕生と軌跡ー」の関連書籍をオンラインショップで販売中。市民ミュージアム建設時の図面、被災後の館内写真などを紹介するとともに、建設の経緯や建築における位置づけなどに関する論考を掲載しています。

ほかにも展覧会図録やオリジナルグッズを多数ご用意しておりますので、ぜひ一度Webサイトをご覧ください。

オンラインショップはこちら

<https://www.kawasaki-museum.jp/shop/>



情報発信中



ホームページ



Facebook



X (Twitter)



Instagram

川崎市岡本太郎美術館(多摩区)

企画展/2024年2月17日(土)～4月14日(日)

「第27回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」

岡本太郎の精神を継承し、自由な視点と発想で現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立された岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)。27回目を迎える本賞に入選した、創造性あふれる22組の作家の意欲的な作品をご覧ください。

第27回岡本太郎賞 つん(今日も「あなぐま」で生きていく)



常設展/2024年1月20日(土)～4月14日(日)

「人のかたち:岡本太郎の人体表現」

人のすがたや顔、眼、内面を含めた人間の在りようを題材に多くの創作を残した岡本太郎。その表現の幅広さを制作時期による変遷とともにご紹介します。

企画展/2024年4月27日(土)～7月7日(日)

川崎市市制100周年記念展「生命の交歓 岡本太郎の食」

岡本太郎にまつわる「食」を切り口として様々な作品をご紹介します。

常設展/2024年4月18日(木)～7月7日(日)

「前衛たちの足跡 岡本太郎とその時代」

バリ時代をはじめ、岡本太郎と交流のあった同時代の作家たちの活動の一端をあわせてご紹介します。

●展覧会関連イベントについてはホームページをご覧ください

情報発信中



ホームページ



Facebook



X (Twitter)



Instagram

川崎浮世絵ギャラリー ～ 斎藤文夫コレクション～

KAWASAKI UKIYO-E GALLERY SAITO FUMIO COLLECTION

ホームページ、Facebook、
X(旧Twitter)にて情報発信中



ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)

浮世絵にみる異国

会期／[後期]3月16日(土)～4月14日(日)

江戸時代は、日本人が海外渡航することは禁じられていましたが、長崎出島等における交易を通じて、異国の文物や情報が常にもたらされていました。硝子などの舶来品は珍重され、浮世絵にも描かれています。遠近法や陰影法など、西洋の絵画技法を取り入れた浮世絵なども制作され、新しい表現が生み出されていきました。本展では、外国人を描いた長崎絵なども展示し、江戸の人々が触れた異国をご紹介します。



作者不詳
「阿蘭陀人」(長崎絵)



不詳「合衆国人物蒸気船図繪」

SHO(笑) TIME! 戯画展

[前期] 巨匠たちのユーモア ～国芳・広重・暁斎～
[後期] 歌川広景「江戸名所道外尽」

会期／[前期] 4月20日(土)～5月19日(日)

4月29日(月・祝)、30日(火)、5月6日(月・祝)は開館

※5月7日(火)は振替休館となります

[後期] 5月25日(土)～6月23日(日)

戯画とは、「戯れに描いた滑稽な絵」のことです。機知に富んだ言葉遊び、ひょうきんな人物表現、社会への痛烈な風刺、etc... 戯画を通して、江戸のユーモアを探ります。

前期展では、歌川国芳・歌川広重・河鍋暁斎など浮世絵界の巨匠による戯画を紹介します。

後期展では、歌川広景の揃物「江戸名所道外尽」を中心に、江戸の町で繰り広げられるドタバタ劇をお届けします。



歌川広重
「即興図南づくし らんかんざぼし」(前期)



歌川広景
「江戸名所道外尽 二 両国の夕立」(後期)

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-280-9511 FAX.044-222-8817

<https://ukiyo-e.gallery/>

【アクセス】JR川崎駅北口東より徒歩2分もしくは中央東口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩2分

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日が休館)、年末年始、展示替えの期間、4月29日(月・祝)、30日(火)、5月6日(月・祝)は開館、5月7日(火)は振替休館

【開館時間】11:00～18:30(入館は18:15まで)

【観覧料】500円(ただし高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料)、年間パスポート3,000円(購入日から1年間有効)

画像の作品は全て、公益社団法人 川崎・砂子の里資料館所蔵 ©2024 川崎・砂子の里資料館 ※展示内容は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

広告募集

■広告掲載料: 広告B(1/8頁) P10下部掲載 ※左右2枠分あり
サイズ[ヨコ87mm×タテ63mm] カラー

1ヶ月契約	3ヶ月契約	6ヶ月契約	11ヶ月契約
12,000円(税込)	35,000円(税込)	68,000円(税込)	123,000円(税込)

■お申し込み及びお問い合わせは、メール・電話・FAXにて

や ぱたいんさつ
八幡印刷株式会社／担当: 菅野(かんの)
TEL.03-3493-4381 FAX.03-3493-4382
Eメール: kanno-h@yahata p.co.jp

※広告募集・掲載・掲載に関しては、八幡印刷株式会社の責任において行い公益財団法人川崎市文化財団は責任を負いません。

広告

確かな技術とノウハウで
印刷ニーズに応えます。



八幡印刷株式会社

川崎営業所
川崎市幸区南幸町1-25-3-201
TEL 044-542-2311

東京営業所
東京都品川区西五反田2-9-7-403
TEL 03-3493-4381

<http://www.yahata-p.co.jp>



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



企画展「宿場から明治の川崎へ」

産業都市へ変わっていくまでの歩みに触れる

宿場としての役割を終えた川崎が、どのように姿かたちを変えていったのかを、写真やパネルで紹介します。

会期／4月6日(土)～5月26日(日) 会場／東海道かわさき宿交流館3階 料金／無料

第26回 講談de交流

リズムカルな語り口に引き込まれること請け合い

古くから人々に愛されている伝統芸能「講談」。独特の調子によって、臨場感たっぷりに語られる物語を、心行くまでお楽しみください。

日時／4月17日(水) 14:00開演(13:30開場)

出演／真打 神田春陽 前座 神田ようかん

会場／東海道かわさき宿交流館4階 料金／無料(全席自由)

定員／100名 ※申込多数の場合は抽選を行います。

申込方法／往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数(はがき1枚につき、2名まで申込み可)・「講談希望」と明記の上、〒210-0001 川崎市本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館 まで。
締切 4月4日(木)必着



神田春陽

神田ようかん

《往復はがき記入例》

〒210-0001 往復 東海道かわさき宿交流館	(返書のうら) このはがき 講談希望を印刷します 書きかたを参考に
--------------------------------	--

000-0000 返書 を記入ください 〒210-0001 東海道かわさき宿交流館	(往復のうら) ①希望の催し名 ②郵便番号・住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤参加希望人数
---	---

江戸時代の粋に遊ぶ その59「狂言」

「笑い」を通して描かれる中世の庶民生活

狂言は人間の弱さを面白おかしく表現する“立体落語”。目の前で繰り広げられる親子共演の狂言の奥深さをご堪能ください。

日時／4月20日(土) 14:00開演(13:30開場)

出演／善竹十郎 善竹大二郎 会場／東海道かわさき宿交流館4階

料金／1,500円(当日券のみ) 定員／100名(全席自由)



善竹十郎

善竹大二郎

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分

【休館日】毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌平日が休館。

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が可能です。



東海道川崎宿は2023年に
起立400年を迎えました

毎月 第三火曜日のお楽しみ ラゾーナ寄席 2024

第138回 4月16日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

■会場／ラゾーナ川崎プラザソル 〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出演／春風亭柳橋・一玄亭米多朗・松林伯知・春風亭昇ちく

■入場料／全席自由2,000円・25歳以下1,000円

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp <https://www.plazasol.jp/yose/>

当日券も
ございます。
お気軽に
お越しください。



春風亭柳橋



川崎市アートセンター
kawasaki ART center

アルテリオ映像館

『12日の殺人』

3/30(土)より上映

2022年 | フランス | カラー | ビスタ | 1h54 | DCP

監督・脚本:ドミニク・モル 脚本:ジル・マルシャン 原案:ポーリーヌ・ゲナ

出演:バステアン・ブイヨン、ブリー・ランネル、テオ・チョルビ、ヨハン・ディオネ

フランス南東の地方都市グルノーブルで、10月12日の夜、帰宅途中の21歳の女性は何者かに火をつけられ、翌朝焼死体という無惨な姿で発見される。地道な聞き込みから次々と容疑者が捜査線上に浮かぶも、事件はいつしか迷宮入りとなってしまう。緊張感弛まぬ犯人探し、事件にのめり込む刑事を描いた秀逸なサスペンス・スリラー。



©2022 - Haut et Court - Versus Production - Auvergne-Rhône-Alpes Cinéma

『モンタレー・ポップ』

3/30(土)より上映

1968年 | アメリカ | カラー | スタンダード | 1h18 | DCP

監督:D・A・ペネベーカー

出演:ママス&パパス、キャンド・ヒート、ジャニス・ジョプリン、

ザ・ジミ・ヘンドリックス・エクスペリエンス

1967年の6月に行われた大規模なロック・イベント、モンタレー国際ポップフェスティバル。チャリティ・イベントとして3日間に渡って行われ、20万人以上の観客を動員。当時24歳のジミ・ヘンドリックスの冴えわたるギタープレイ、同じく24歳のジャニス・ジョプリンの圧巻のボーカルなど伝説のプレイヤーたちが集結した奇跡のイベントを克明に記録したドキュメンタリー。



©2002 THE MONTEREY INTERNATIONAL POP FESTIVAL FOUNDATION, INC., AND PENNEBAKER HEGEDUS FILMS, INC. ©2017 JANUS FILMS

『パリ・ブレスト 夢をかなえたスイーツ』

4/6(土)より上映

2023年 | フランス | カラー | シネスコ | 1h50 | DCP | PG12

監督:セバスチャン・テュラール 脚本:セドリック・イド

出演:リアド・ベライシュ、ルブナ・アビダル、クリスティーヌ・シティ、

パトリック・ダスマサオ

皿洗い係の青年、ヤジット。ネグレクトを受けるなど過酷な幼少期を過ごした彼の夢は最高のパティシエになること。そのために田舎から180キロも離れたパリの高級レストランで修業をしている。必死に学び続け、偉大なパティシエたちに従事し、夢に向かって充実した日々を過ごすなか、嫉妬する同僚の策略で、突然仕事を失うことになって…。



©DACP-Kiss Films-Atelier de Production-France 2 Cinéma

『PERFECT DAYS』

4/6(土)より上映 アンコール上映

2023年 | 日本 | カラー | スタンダード | 2h04 | DCP

監督・脚本:ヴィム・ヴェンダース

共同脚本:高崎卓馬

出演:役所広司、柄本時生、中野有紗、麻生祐未、石川さゆり、田中泯、三浦友和

好評につきアンコール上映!

渋谷区内17か所の公共トイレの清掃員平山。アパートにひとり暮らしの日常は、カセットで音楽を聴き、古本屋と行きつけの食堂に通うことで満たされていた…。ひとりの男の肖像を『ベルリン 天使の詩』の名匠ヴィム・ヴェンダースと、役所広司が鮮やかに描き出す。



©2023 MASTER MIND Ltd.

〈映画監督・岡本喜八生誕100周年記念プロジェクトin川崎市アートセンター〉
第3弾『独立愚連隊、西へ』

4/14(日)12:30上映

1960年 | 日本 | 白黒 | シネスコ | 1h47 | 35mm

監督・脚本: 岡本喜八 脚本: 関沢新一

出演: 加山雄三、佐藤允、堺左千夫、大木正司、中山豊、江原達怡、フランキー堺

歩兵第四六三連隊は八路軍に攻撃を受け、軍旗を抱いて脱出した北原少尉を残し、玉砕した。師団本部は軍旗搜索を命令し、増援隊として日本軍隊からは厄介者扱いを受け、危険な戦線ばかりを転戦している独立左文字小隊を派遣したが彼らの命運は…。加山雄三初主演。西部劇風な活劇とコメディの要素をまぶした喜ハタッチといえる手法で、戦争と人間を描く。



©1960 東宝

『コール・ジェーン 女性たちの秘密の電話』

4/13(土)より上映

2022年 | アメリカ | カラー | シネスコ | 2h01 | DCP | PG12

監督・脚本: フィリス・ナジー

出演: エリザベス・バンクス、シガニー・ウィーバー

人工妊娠中絶が違法だった1960年代のアメリカ。裕福な家で暮らす主婦のジョイは第2子を妊娠するもそのせいで心臓の病気が悪化してしまう。医師に中絶を相談するもあっさり拒否され、途方に暮れるジョイは「妊娠?助けが必要?ジェーンに電話を!」と書かれた張り紙にある先に電話すると…。女性たちが自ら権利を勝ち取った実話を映画化した、今、観るべき社会派エンタテインメント。



©2022 Vintage Park, Inc. All rights reserved.

『美と殺戮のすべて』

4/20(土)より上映

2022年 | アメリカ | カラー | ビスタ | 2h01 | DCP | R15+

監督・製作: ローラ・ポイトラス

出演: ナン・ゴールドフィン

1970年代から80年代のサブカルチャー、ポストパンク/ニューウェーブシーンを痛烈に切り取ってきた写真家、ナン・ゴールドフィン。「オピオイド鎮痛薬」によって大切な人たちとの出会いと別れを経験し絶望を抱えながらアートの力で世界を変えようとする、切実で強い想いをもって活動し続ける彼女が、アーティストである前に一人の人間として歩んできた道のりのドキュメンタリー。



©2022 PARTICIPANT FILM, LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

その他の上映作品 『かづ彥の』、『熱のあとに』、『ブルーを笑えるその日まで』、『COUNT ME IN 魂のリズム』、『ロイ・ハググローヴ 人生最期の音楽の旅』、『ピアノ・レッスン 4Kデジタルリマスター』、『ペナルティ・ループ』

◆指定席・オンラインチケット販売開始のお知らせ

お客様の利便性向上のため、3月下旬頃より指定席に変更し、オンライン販売も導入する予定です。※詳細はホームページ等でご確認ください。

◆通常料金

●一般: 1,800円 ●大学生・専門学校生: 1,400円 ●シニア・会員: 1,100円
●障がい者・付添(1名まで): 1,000円 ●高校生以下: 800円

◆各種割引あり

●毎月1日は映画サービスデー ●水曜日はサービスデー ●夫婦50割

ユースパス 3歳〜18歳(高校生)まで100円でパスを発行(1年間有効)
案内 いつでも500円で映画がみられます。

◆アルテリオ・シネマ会員募集中!

いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

●入会金500円 ●年会費1,000円(1年更新制)

●ポイント5つで招待券1枚プレゼント!

●同伴者割引: 1名様まで、一般料金1,800円の作品は一律1,300円に割引!

ご入会手続きは受付でのみ承っております。

◆団体鑑賞受付ます!(お問い合わせください)

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1

TEL. 044-955-0107 FAX. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp https://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

〈月曜休映(祝日の場合は翌日)〉



やむを得ない事情により、上映スケジュールの一部またはすべてが中止になる可能性がございます。お出かけの際は、当館ホームページ、または直接お電話にてご確認ください。



川崎市アートセンター
kawasaki ART center

アルテリオ小劇場

小劇場×映像館コラボレーション企画vol.7

こんにちは、賢治さん

構成・演出：ふじたあさや

「ゴーシュは賢治さんなの?」「宮沢賢治さんってどんな人なの?」

映画『セロ弾きのゴーシュ』（監督：高畑勲／1982年／カラー／63分）の上映と宮沢賢治が遺した文学作品の朗読などを通して、「賢治自身がなりたがっていた“自分”」をさがしながら賢治の芸術を楽しもう。

4月29日（月・祝）11：00／15：00開演

【出演】内山森彦、八木橋里紗、小守航平

【料金】大人2,700円、小・中学生1,500円、U25割・障がい者割引2,000円、シネマ会員2,500円（全席指定・税込）

※推奨年齢：小学生以上



©オープロダクション

BEBERICA theatre company ベイビーシアター

What is Like ?

構成・演出・舞台美術：弓井茉那

あかちゃんとおとなが一緒に出会う芸術体験

「人はどこから来てどこに行くのだろうか」という幼い頃に誰しも一度は抱いたことのあるこの疑問をテーマに、「お空の上」という、ここではない世界を体感する赤ちゃんとおとなのための体験型空間パフォーマンス。

5月3日（金・祝）～4日（土・祝）11：00開場・開演

【出演】笠原麻美、龍腰教寛、松村志野、弓井茉那

【料金】おとな・ベイビーペア2,400円、おとな2,400円、ベイビー600円（全席自由・税込）

※対象年齢：0歳～1歳12ヶ月 ※対象年齢以外のお子さまのご入場はお断わりいたします。ただし、リラックス公演は劇場にご相談ください。



©鈴木雅哉

リラックス
公演

障がいのあるお子さん、配慮の必要なお子さん、その保護者の方を対象にリラックス公演を行います。参加に際しては専門知識を有したスタッフがお客様の心配な点や、配慮が必要な事などを事前に確認させていただきます。お問い合わせは劇場までお願いします。（TEL：044-955-0107）

5月3日（金・祝）14：00開場・開演

きつね森の山男～人形劇と浪曲によるあらたな創作～

原作：馬場のぼる（こぐま社刊） 脚色・演出：ふじたあさや

人形劇と浪曲と絵本の三つ巴。新しくて、おもしろい！

子どもたちにも長く愛されている絵本、馬場のぼる作『きつね森の山男』（こぐま社刊）を題材にした、「人形劇と浪曲」という異色コラボレーション作品。山男のふろふき大根がみんなを救う!? 終演後、レクチャー「浪曲って何?」つき。

5月12日（日）11：00／14：00開演

【出演】真山隼人（浪曲）、沢村さくら（曲師）、人形劇団クラルテ

【料金】大人・こどもペア4,000円、大人3,000円、こども1,500円、障がい者割引2,500円（全席指定・税込）

※推奨年齢：小学生以上 ※こども：0歳～小学生



【チケット取扱い】

■インターネット／アルテリッカしんゆり公式ホームページ <https://www.artericca-shinyuri.com/>

■電話予約／しんゆりチケットセンター 044-959-2255

9:00～19:30（3月までは平日のみ、4/1から毎日営業）※毎月の施設点検日のぞく

■窓口販売／しんゆりチケットセンター（川崎市アートセンター内）ほか 9:00～19:30（毎月の施設点検日のぞく）

※障がい者割引チケット（要障がい者手帳、付添1名まで同額）は電話と窓口にて取扱い。※U25割は公演当日身分証提示。

※シネマ会員（要会員証・ポイントなし）は窓口のみ取扱い。

お客様へのお願い ◎発熱や咳など体調不良時にはご来場をお控えください。 ◎手指消毒、咳エチケット等にご配慮願います。

【アクセス・お問合せ】川崎市アートセンター 〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1

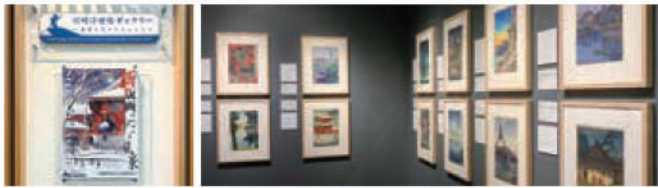
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 <https://kawasaki-ac.jp/> 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



「新版画の沁みる風景—川瀬巴水から笠松紫浪まで」

(1月5日～2月4日 川崎浮世絵ギャラリー)

大正昭和のノスタルジックな風景画を公開



新版画とは、大正期に版元の渡邊庄三郎と、当時気鋭の画家と彫師、摺師の協業により制作された木版画です。浮世絵の木版技術を受け継ぎながら、さらに実験的で精緻な彫りと摺りの工程を経て、芸術性の高い斬新な版画作品が生み出されました。

本展では新版画の風景画を中心に約90点を公開しました。旅先での写生をもとに、情趣に富む風景画を表わし「旅情詩人」と評された川瀬巴水をはじめ、高橋松亭、笠松紫浪、土屋光逸、石渡江逸らのノスタルジックな風景がご好評をいただきました。さらに新版画を代表する「ざら摺り」など、独創的な彫りと摺りの技術に驚嘆する声も多く、約1ヶ月の会期ながら、開館以来最多の入場者数を記録しました。

【お客様の声より】

- 初めて見たが期待以上の展示だった。解説が丁寧でわかりやすかった。

「音楽のまち・かわさき」20周年CM撮影

(1月撮影、3月より放映)

はたちの若者が出演



Photo by Taku Watanabe

「音楽のまち・かわさき」推進協議会は、発足20周年の記念プロジェクトの1つとして、オーディションにより選ばれた「はたち」前後の若者が出演するテレビCMを制作しました。

ロケ地は出演者5名の想い入れがある場所が選ばれています。日本舞踊を学ぶ畠山晴生さんは、川崎能楽堂の舞台上で踊りながら撮影。丸山怜子さんは多摩川の広大な風景の中でヴァイオリンを奏でました。そのほか、馴染みのコミュニティカフェや、吹奏楽部の演奏を行ったホール、音大のある街並みで撮影しました。楽曲中には、5人の演奏した音も使用されています。

CMはテレビ神奈川をはじめ市内のデジタルサイネージ等で1年間にわたり放映します。協議会公式YouTubeでも公開中。裏表紙のQRコードよりご覧ください。

MUZAミュージック・カレッジ2023 第2回 体験するー「想像と創造」と音楽の楽しみ

(2月15日 ミューザ川崎シンフォニーホール 市民交流室)

聴き方の「革命」が起こった2時間



毎年冬期に市民交流室で開催しているシリーズの第2回。今回は演奏とお話を聴くだけの講座ではなく、お客様自身が「体験する」コーナーが設けられました。

会場の床にはビニールテープで演奏のガイドとなる白線がひかれ、その上を歩きながら途中に書かれた文字による指示を見つ、お客様自身が2つのグループに分かれてトーンチャイムや簡単な打楽器、水の入った瓶(これも楽器の1つ)などを演奏。その様子を「音楽」として鑑賞しました。

始めは戸惑っている方も見受けられましたが、次第に「こうしてみようか」とあれこれ工夫して音を出し、最終的には多くの方が「面白かった」と言ってくれました。体験コーナーが終わったあとは再び講師と東京交響楽団メンバーによる演奏がありましたが、自ら作曲に関わり、創造・想像する体験を経たことで、普段は耳なじみのない現代音楽の感じ方ががらりと変わったのも得難い経験となりました。

語る映画—奈々福・太福 浪曲二人会—

(2月17日 川崎市アートセンター アルテリオ小劇場)

名作映画を浪曲でたっぷり!



川崎市アートセンターの小劇場と映像館のコラボレーション企画第6弾。名作映画を浪曲で楽しむ本企画。出演は浪曲界を牽引する玉川奈々福と玉川太福の姉弟弟子。浪曲初心者でも楽しめるよう選んだ映画作品は『平成狸合戦ぽんぽこ』と『男はつらいよ 寅次郎相合い傘』。映画を観ずに語りと三味線だけで楽しむことで創造力がかきたてられます。また上演後には出演者両氏によるトークも実施。映画を浪曲化することになった経緯など作品に関する裏話を聞くことができました。

【お客様の声より】

- 演目の元となった映画を鑑賞したことがないので、この公演の後その映画を鑑賞したくなった。
- あまり浪曲を知らない人にもわかりやすかったのがよかった。

令和6年度パラアート推進公募型委託事業 募集します

■募集期間

令和6年4月15日(月)9時～5月15日(水)17時(必着)

※必ず5月10日(金)までに事前相談が必要となります。

■対象事業

団体として市内で実施する以下の事業

- (1) 障がい者が主体的に関わる文化芸術活動
- (2) 障がい者と健常者が共に関わる文化芸術活動
- (3) 障がい者の文化芸術活動の環境整備
- (4) 障がい者が創造性を発揮したり想像力を豊かにしたりすることができる活動

※単なる既存団体の発表会ではなく、広く参加を促すなど、新たなつながりが期待できること

■実施期間

令和6年7月(契約締結日)から令和7年2月28日まで

■委託料

【スタートアップ事業】

1事業につき20万円(税込)以内、2事業程度

【ステップアップ事業】

1事業につき40万円(税込)以内、3事業程度

※選考については、5月末～6月上旬頃に書面およびプレゼンテーション審査を実施します。



詳細な募集要項および応募方法等は、情報サイトで4月上旬頃に公開予定です。

【お問合せ】公益財団法人 川崎市文化財団 パラアート推進担当

電話 044-272-7366 メール para-art@kbz.or.jp



情報サイト
「はらあーとねっと」

川崎市市制100周年記念

第49回

川崎大師 薪能

～風薫る宵のうつろいとともに堪能する幽玄の世界～
かがり火を焚いて、幻想的な雰囲気の中で能・狂言を上演する「薪能」。
屋外の開放的な空間で、格式ある舞台を気軽に楽しむことができ、
初心者の方にもおすすめです。

(16時30分開場)

2024年6月28日(金)17時30分開演

■会場: 大本山川崎大師平間寺 特設舞台(雨天時: 信徒会館)

■チケット発売: 令和6年4月18日(金)10時～

S席 6,500円(区分指定・区内自由/雨天時 信徒会館入場可)

A席 4,500円(区分指定・区内自由/雨天時 払い戻し)

U25(A席) 2,000円(25歳以下の方対象/当日要身分証/区内自由席/雨天時 払い戻し)

公演詳細はこちら



令和4年 第47回川崎大師薪能 上演風景(撮影: 前島吉裕)

主催/川崎大師薪能実行委員会 共催/一般社団法人川崎市観光協会、公益財団法人川崎市文化財団 問合せ/(公財)川崎市文化財団 川崎大師薪能係 TEL 044-272-7366(平日9時～17時)



「音楽のまち・かわさき」は
今年で20周年を迎えます。



20周年記念CM公開中

オーディションにより選ばれた
「はたち」前後の若者が出演しています。

映像は
こちら



ワークショップ
参加者
募集

「音楽のまち・かわさき」20周年/川崎市市制100周年 記念企画

8小節プロジェクト わたしの「かわさきのうた」

あなたにとって川崎はどんなまちですか? どのところが好きですか?
たった8小節でできる自分の「かわさきのうた」を作るワークショップを開催します。
作曲の経験がなくてもOK! あなたが思う川崎を教えてください。

日時 4月21日(日)13:00～15:00(終了時間予定)

場所 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 事務所
(川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階)

料金 無料 参加年齢の目安 中学生以上 定員 8名

申込方法 4月7日までに専用フォームよりお申込みください。⇒

※5月以降も毎月、川崎市内の会場でワークショップ開催を予定しています。わたしの「かわさきのうた」コンテストも開催予定! お楽しみに。

問合せ/「音楽のまち・かわさき」推進協議会 TEL.044-544-9641

伴奏音源
詳細はこちら



3年3組こくぼん先生

川崎市内の現役小学校の先生。2018年
ソニーミュージックからメジャーデビュー。



公益財団法人 川崎市文化財団



COLORS FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th

川崎市文化財団は、川崎市市制100周年を応援しています。

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647 https://www.kbz.or.jp X(旧Twitter) @kbunkazaidan

令和6年4月1日発行 *かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

川崎市文化財団

検索



かわさきSDG's
パートナー

川崎市は持続可能な開発目標(SDG's)を支援しています。

*本文に一部UDフォント(ユニバーサルデザインフォント)を使用しています。

*本誌に掲載している催し物は内容が変更となる場合がございます。最新の情報は、各公演のお問合せ先へご確認ください。

●印刷・製本/八幡印刷 TEL.044-542-2311